

## 蘭方口伝（シーボルト驗方録）

中村 昭

これは筆者不明の江戸期の写本であり、私はこれを東京神田の古書店で入手した。旧蔵者も不明である。この概要は第九〇回日本医史学会総会において発表したが、本稿はその全文を資料として掲載するものである。

この写本の内容は大きく三つの部分に分けることができる。その第一はシーボルトの門人達が師から聞いた診察法や薬の分類などについての聞き書の寄せ集めで、系統的な記述ではない。第二は矢勃シボルト兒杜驗方録と題して、シーボルトおよび門人達の治驗録または処方例の集成であり、これがこの写本の大部分を占める。これも系統的な記述ではなく、順不同の集成である。原文の条項に番号はついていないが、私がつけたところ一九七項あった。第三の部分は附諸説記聞と題され、これも蘭方医学に関する聞き書の記録だが、これは必ずしもシーボルトから聞いたものではないと思われ、項目数もあまり多くない。

この写本の表紙に蘭方口伝という外題が墨書されているが、内容的にはシーボルト驗方録が主要部分を占めるので右のような見出しにした。シーボルトの治驗録あるいは処方録の類は何種類かの伝本があるが、このような形で蘭方口伝と題した本が他にあることを聞かない。全文が活字化されたこともないと思われる。シ

ーボルト驗方録については古賀<sup>(一)</sup>、中西<sup>(二)</sup>、宗田<sup>(三)</sup>らが部分的に紹介しているが、写本により少しずつ内容に相違があるようである。

この他、シーボルトの門人であった戸塚静海の筆録になるシーボルト処方録はかつて戸塚武比古氏<sup>(四)</sup>によってその全文が本誌に発表された。これを私のこのシーボルト驗方録と比較すると、共通の項目も多いが違う項目も少なくない。また共通のものでもその内容や表現法に異同があるので、両方を参照することによって誤字を訂正し理解を深めることができる。

私のこの原稿は戸塚氏の処方録等を参照してできるだけ誤字を訂正してある。また逆に、戸塚氏の処方録にも誤字や錯簡が認められる。この驗方録の条項に相当する戸塚氏処方録の条項を（処三六）のように付記して参照の便をはかった。

この驗方録で注目すべき条項のひとつは（一一〇）で、シーボルトの高弟（鳴瀧塾の塾頭格）である高良齋が肺炎らしきものに罹患した病状経過が記録されていることである。戸塚氏の処方録ではこれを第一番に持って来ているが、高良齋の名前は何故か消えてしまっている。

しかし内容的な検討は本稿では行わず、最低限度の注をつけるだけとする。原写本の漢字の使い方は当然旧字体の場合もあり、また現代の略字と同じものも多く使われているが、なるべく原文通りに活字化した。また現代では使われない略字、たとえば「（事）、（中）、（章）、（簪）、（雖）、（寸）、（時）、（井）、（トキ）、（氏）、（トモ）、（シテ）」なども原文通りとした。

文 献

(一) 古賀十二郎『西洋医術伝来史』二六〇～二六一頁、日新書院、東京、一九四二(昭和十七年)。

(二) 中西啓『長崎のオランダ医たち』一五四～一五八頁、岩波書店、東京、一九七五(昭和五十年)。

(三) 宗田一「鳴滝塾の教育者とシーボルト」宗田一他編『医学近代化と来日外国人』二～五頁、世界保健通信社、大阪、一九八八(昭和六十三年)。

(四) 戸塚武比古「シーボルト処方録」『日本医史学雑誌』二九卷三号、三一七～三三九頁、一九八三(昭和五十八年)。

蘭方口傳

四則之辨

夫醫者自然之臣僕也。病者自然之變動也。苟身骸有邪毒、變動乃發、以擯斥其害。是自然之勢也。推其勢、察其機、而左右之、謂之上<sub>ニ</sub>名醫。若夫邪毒冒<sub>ニ</sub>身骸、而不能<sub>レ</sub>發<sub>ニ</sub>變動<sub>一</sub>也。苟無變動、則名工莫<sub>レ</sub>地<sub>レ</sub>施<sub>レ</sub>術、神仙莫<sub>レ</sub>所<sub>レ</sub>與<sub>ニ</sub>藥<sub>一</sub>矣。蓋四則者、驅逐邪之常路、處方之門戶也。凡百疾雖<sub>ニ</sub>其症多端<sub>一</sub>、無<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>出<sub>ニ</sub>於此常路<sub>一</sub>者。醫由<sub>レ</sub>之察<sub>ニ</sub>病機<sub>一</sub>、推<sub>レ</sub>之處<sub>ニ</sub>方劑<sub>一</sub>。庶機不<sub>レ</sub>失<sub>ニ</sub>大綱<sub>一</sub>。敷是我師。先生之秘訣、深藏<sub>ニ</sub>諸蘭室<sub>一</sub>、容易不<sub>レ</sub>許<sub>ニ</sub>人<sub>一</sub>。今見<sub>ニ</sub>吾子志之厚<sub>一</sub>、不<sub>レ</sub>忍<sub>レ</sub>濫<sub>レ</sub>之、謹授<sub>ニ</sub>鳥子<sub>一</sub>。其勿<sub>レ</sub>忽<sub>レ</sub>諸。

(注) この原文は白文だが、それに句読点と返り点をつけた。

また我師の下が空白になっているが、これはシーボルトとあるべきところ、彼がシーボルト事件で罪人になったことを慮って名前を伏せたものと思われる。

西洋量名

氏 ケレイン 和一厘六毛

刃 スクリュベル 三分三厘三毛

ろ オンス 八匁

lb ポンド 九十六匁

(注) これらはすべて重量の単位。日本の毛厘分表は十進法で、一匁は一匁と同じで約三・七五グラムである。なお戸塚氏による処方録ではスクリュベル刃がすべて匁と印刷されており、間違いと思われる。

二性 寒(不及)熱(大過)也

○千病百症ト虽<sub>レ</sub>此二ツヲ出<sub>レ</sub>ズ、此レ病ノ大段落、脉ハ遲數ノ外ナシ、浮沈ハ取ルベカラズ○遲ハ不及ニシテ寒ナリ、數ハ大過ニシテ熱也○數ト虽<sub>レ</sub>力ナキハ虚ニシテ寒也、遲ト虽<sub>レ</sub>緊洪ナルハ大過ニシテ熱也、刺絡清涼ヲ行フベシ○大過ニ係ル者ハ桂枝、龍胆ト虽<sub>レ</sub>可ナラズ、不及ニ属スル者ハ硝石ニ論ナシ大麥ト虽<sub>レ</sub>禁ズ

四則

焮腫 衰弱 皮表 第一道胃腸也

六法

漏泄 分解 清凉 強壯 收酸 緩率

瀉泄ハ吐下、利尿、発汗、殺虫、驅風、吐涎、吐痰是也

分解ハ通経、破石、驅風、吐痰是也

清凉ハ諸清凉剂、刺絡、下剂、吐剂是也

強壯ハ強腦、健胃、收斂、止腐是也

收酸ハ吸酸是也

緩率ハ甘和、鎮瘡是也

十八道ハ下剂、吐剂、利尿、破石、通経、殺虫、吐痰、驅風、

清凉、分解、甘和、強神、收酸、鎮瘡、健胃、止腐、收斂、発汗是也。

十八道薬材

(注、この写本で十八道薬材というのが二通り書かれていて、それらは共通な薬物もあり、違うものもあり、同じものでも表現法が違っていることが多い。これらを適宜に一つに統合し、振り仮名と注を少し補足した。)

緩下剂

瀉邦 答麻林度 (性功梅肉膏ト同) 酒石塩 (勿印私的焉)

翁埵兒暴謨 (注 蓖麻子)

強下剂

芦薈 刺拔兒 旃那 芒硝 硝石 越弗尊曾屋度 翁埵兒曾屋度 麻俱涅矢巫 (消低麻僞涅矢巫)

強々下剂

胡芦重度 葯刺巴 接骨木皮 (弗里尔暴謨) 藤黄

吐剂

乙百葛格安那 (注 吐根) 安質没扭 細辛 烟中 丹岩及白

丹丸 蒲勞蛤勿印私的焉 (注 吐酒石) 謝亞俞印 (注 海葱)

收斂剂

英賢暴 没食子 魯屋的呂屋坐 (赤薔薇) 檉柳 (聖樹) 蚤

休 亞尔諳 ガルメンステーン 鉛 落葉松茸 玫瑰花 肉蔻

吸酸剂

哈爾骨 結麗土 消低麻僞涅矢巫 劍篤也私 (注 カリウム)

ハストクルーエンテログソート 蝸蝸石 堯麻僞涅矢巫 雞

卵殼

健胃剂

健質亞那 亞尔鮮 (注 苦艾) 能美斯 幾那 面多亞 亞宇

藍度 金錢花 良姜 陳皮 薄荷油 肉蔻

止腐剂

幾那 羯布羅 玫瑰花 (魯屋坐) 丹岩精 硫黄精 ヒットリ

オールシニール スワーフルシニール

鎮瘡剂

醉 麝香 鹿角精 葛私多僕謨 芍藥 勿弗瀉鎮痛液 破列里

亞那

吐痰剂

安謨尼加 (安謨尼加護謨) 小茴香 拔尔撒謨骨杯法 亞刺比

亜護護 點矢刺護 拔尔撒護(ヘムヒヤン) 滅没 スワーフル  
(注) 硫黃) シントニヤスコロイト 謝亜俞印私屋多 私屋度  
曾乙久尔(注) 糖) 法屋尼布(注) 蜜) 訶寧机 安質没扭  
硝石精 硝石 覆盆子 安息香

清凉剂

覆盆子 橙酢 熟菓 酒石酸 清凉仁子 酸模 撒兒辺英篤兒  
(硝石) ニットリユートルシス 答麻林度 亞尔多亜 甘硝石  
精 西瓜舍利別

分解剂

亞尔鮮 延胡索(葛尔儒別涅実屈室)注 カルドベネジクト草)  
睡菜 半夏 罂菜 ハールドフルム 吐下剂 礞砂 水銀剂  
射布(石鹼) 酒石剂 白芥子 茅根 加羅蔑兒(甘朮) 薄荷

緩和剂

巴旦杏 燕麦 亞麻仁 滿兒巴(錦葵) ホルトガル油(胆八  
油) サアリー 無花果 私屋土 薑々菜 脂肪 油类 蠟  
蜀葵 没私

強神剂

アウキユスチュラベエテ 吉那 格林蒲(枯林保) トイセン  
ドマラット 桂枝 白丹丸 ニースヲトル 度以噫如蒲僕護  
海塩精 剛鉄 那業兒古落乙度(注) 水楊梅) 菁蒿 葡萄酒  
白桂枝 葉紫蘇 保私保利 米涅拉列窠の兒 曾屋志與兒 硫  
黄精 破列里亞那

利尿剂

蒲列謨(注) 洋花 阿蘭花 商陸 ユニヘルボーム(杜松

子及木) 謝亜俞印 コロイスシユステル 的列面底那 酒石  
酸 テーナロース 志幾答亞里斯 カンタリス 水楊梅皮 芫  
菁 鵠泄蛤尔(注) 牛胆)  
發汗剂

サンビキユス(注) 接骨木) スワーフル 發汗安質没扭 安  
質没扭酒 酒石酸 モニヤシ 金茂花 ホックホウト カンフ  
ル(羯布羅) 牛房根 アコニット 蒲勞蛤勿印私的焉(注)  
吐酒石) 底里亞伽 亞告尼支護 亞鉛華

通経剂

護謨安没尼加(代用没藥) アツサハシタ(注) 阿魏) 芸香  
アンケリカ(代白芷) カルバサム(代没藥) ムーデル(苦蕒)  
メンター メラ サフラン カストレウム ホウ砂 ゴムア  
ンチモニア アギ マステキス エーゼル(剛鉄) 礞砂 琥  
珀油

殺虫剂

アツサハチタ ヲルムサアト 鵠泄蛤兒(牛胆) エーセル  
(剛鉄) ゲンチアナ 骨乙機(注) 水銀) 阿魏及下越告兒  
亞鉛華

驅風剂

アニシム(退泥子) カヤフーテイ(蛤雅布的油) カルタル  
(益智) 仏手柑 胡荽子 蒔蘿 生姜 カミルレブルム 橙  
皮 カルシユス メンター(薄荷) 白芷 セドアリア(山奈)  
苦薏花 泥菖根 良姜

破石剂

コグソント  
羅個索屋薦 哈尔骨蜜的兒 謝布

麻非剂

粟殼 阿片 非與志亞無斯

以上 右十八道藥劑 畢

シイボルト云「フラトウシイキテ」者甚少ナリ本國ト日本ニ於テ  
唯二人ヲ見ルノミ此ハ心藏中ニ許多ノ小管生シ血液ノ運行ヲ遅  
滞ナラシムル故必死ノ症ナリトス

又曰和蘭ニテ解剖スルニ肉ハ燒酒ニ浸シ血管等ハ蠟ヲ流シ込ム之  
ニ因テ惡臭ナクモ甚タ佳也

又曰イスラントモス和産未詳ナレヒゼーゲワスニ代用其功全同  
カromeール用法

燼衝熱劇者 十五グレイン 十二時ニ用尽

又常用 十二グレイン

又微毒 隨其証緩々用之

右大抵沙糖或大黃或甘草或ジキタリス或硫黃等物ニ和シ散トナシ  
或ハ丸トナシ用ユ

胸臆診法 顴骨見赤色者為確徵

竭納皮 哺乳ノ小兒ニハ多ク用ユルヲ禁ス

シイホルト平常所用飲料藥品二十余味

(此ヲ以テ始終運用ス多クハコノ外ニ出ズ甚簡便ノヲ也)

泥葛根 菝活 茅根 龍胆 甘中 大黃 薄荷 橘皮(或移皮)

野菊 接骨花 吉納(代用多水楊内服擦皮) 蜀葵 蒲公英

芒硝 茴香 桂枝 錦葵 豆蔻 大麦 亞麻人(代麻子人及菴

子) 杜松子 杜松木 山査子 茵陳 海人中(オルムサアト  
ノ代用) 玫瑰 纈中 水楊梅 硝石 右二十九味

失勃兒杜驗方錄和蘭紀元千八百二十三年ヨリ二十七年迄  
本邦文政六年ヨリ十年迄ニ當ル

(一) 微毒ニテ臂辺経久腫瘍(処二)

硝石二 シルパンソウタ四戈 代用芒硝

右水九十六戈ニ溶解シ薄荷油四滴ヲ加ヘ毎時二匕

(注、匕ハ量目ノ単位として常用されているが、一匕は約  
四戈ニ四戈である)

又其外用法

カヤブーテ油二十戈 礪砂二戈 胆八油二戈 右混和毎日患部ニ  
擦ス

擦ス

(二) 白点眼又瑪瑙翳多年者燼腫消散後翳膜尚在者(処三)

猛求丹一ケレイン 阿片ニケレイン

右水十六戈ニ溶解シ眼中ニ点ス

(三) 眼痛シンキンケンヨリ来ル者(処四)

サンビキス 羅甸名ニスキユルベル 接骨木花

右水二十四戈ニ煎シ錫精十二ケレイン「ラウタニユム」十五  
ケレインヲ加ヘ毎日二次眼中ニ点ス

又飲料方

纈中四戈 大黃二戈

右十二オンセンノ水ヲ以テ煎シ薄荷油四滴ヲ加ヘ毎時一匕

(四) 水腫虚脱者(処五)

纈中一戈 水楊梅一戈ニ四戈ニ作

右十二オンセンノ水ヲ以テ煎シ薄荷油四滴ヲ加ヘ毎時一匕

右水十二オンセンニ煎シ硝石一棗ヲ加ヘ毎時一匕ヲ服ス  
又方

水楊梅五分 薄荷五分 カノコ中二棗

右水四棗ニ煎シ毎時一匕ヲ服ス

(五) 赤眼咳ヨリ来ル者(処六)

硝石十五棗 吐酒石一ケレイン

右水十二オンセンニ溶解シ沙糖一オンスヲ加ヘ毎時一匕ヲ服ス

又蒸方

カミルレ野菊花 オランダ菊

(六) 石淋其効如神(処七)

酒石塩四ケレイン

右水三十二棗ニ溶解シ綠蓉精或代硫黃精二十滴加ヘ毎日此量ヲ服

ス

又飲剂方

ガラス茅根 サルサバリ茯苓 硝石 甘中

(七) 水気衝心急迫者(処八)

硝石 蝸蝓石 酒石塩シユール

右煎湯且硝石单味ヲ用テ可シ

(八) 小兒頭瘡或疥癬(処九)

硫黃 大黃 砂糖


右三味為末

(九) 咽喉焮腫(処一〇)

アルターブルーム奇

(一〇) 黒内障ニ因テ瞳子散大或毎時刺痛者(処一一)

カロメル五ケレイン アコニット烏頭五分 砂糖一オンス  
右末為十服日三服

(一一) 痘餘毒已ニ眼中膿滿セント欲スル者其形  此処膿ナ

リ(処三)

カロメル 金硫黃各八ケレイン 製アンチモニー 沙糖一オンス

右末分為八服日三服八歳ヨリ以上十二歳迄ハ大量ヲ用ヘシ其ヨ

リ以下ハ量ヲ減スベシ若シ此剂効ナキ寸ハ外用「ラウタニユ

ム」ヲ温水ニ浸シ烏頭末ヲ和シ其斑上ニ点ス

(一二) 喘急脚湯刺絡其他諸治或用和胸方等無効者(処三)

カロメル十二ケレイン 阿片一ケレイン 砂糖一オンス

(一三) 停食嘔吐後大便壅急甚者(処四) 蜀葵一オンス 大黃一棗

右水九十六棗ニ煮雞子黃胆八油各四棗ヲ加ヘ毎時二匕ヲ服

(一四) 疥癬(処一五)

カロメル十五ケレイン 金硫黃十ケレイン 沙糖一オンス

右為十服毎日三服

(一五) 咽喉痛(処一六) メルロイヤ 甘草一オンス アラヒヤゴム一棗

沙糖一オンス

右水百六十棗ニ煎服

又兼進

カロメル十二ケレイン オンドルソウト芒硝四棗 沙糖一オンス

右末為十二服朝夕一服ス

(一六) 白点眼(処一七)

オッセカル牛胆一スクリュベル

右水十六钱ニ溶解シ「ラウタニウム」五分ヲ加フベシ若シオツセカルナキ寸ハ盧薈六ケレインニ代ヘラウタニウム十滴ヲ加フベシ又海水ヲ以眼ヲ洗フ可也

(二七) 百日咳 (処五)

カロメル二十ケレイン マグ子シア五分 甘中末一钱

右為十五服一日三服

(二八) 黒風内障 (処三)

アコニット鳥頭五分 吐酒石二ケレイン 沙糖一オンス

右為十二服一日二服

(二九) 産後発狂 (処三)

阿片一厘六毛ヨリ五分ニ至ル

其他治

瀉血百千钱 清涼剂硝石類中

(三〇) 眼目昏瞑 蒸発気閉塞ヨリ来者 (処三)

鳥頭一スケル

右水十六钱ニ煮「ラウタニウム」一分五リヲ加ヘ之ヲ点ス若赤

焮痛ヲ発スル者ハ錦葵葉蜀葵ヲ加フベシ

又飲剂方

鳥頭一钱 吐酒石二ケレイン 沙糖一オンス

右分為十二服朝夕二服ヅム服○眼目汚穢ナルモノ石鹼水ヲ以テ

洗フベシ

(三一) 止痔血方 (処三)

硫黄一钱 酒石

右二味合為散二三日或四日從証用之

(三二) 舌疽初発其頑肉ヲ切去リ後顎下人迎ノ辺ニ梅核ノ如キ物ヲ

生シ強ク之ヲ押セバ其痛舌根ニ牽引ス否レハ痛マズ漸次ニ大ナ

ラント欲スル者 (処三)

内服薬ノ方

シキユータ代用真管一钱 吉納三钱 甘草膏適宜

右甘草膏ニ水少許ヲ加ヘ徐々ニ煮解シ余薬ヲ投シ丸ト為シ廿日

ニ之ヲ服ス○シキユータ分量一日ニ五リニ当ル

又外用方

シキユータ膏

右一味類々ニ患処ニ塗ル

(三三) 舌疽ヲ切去リ痛甚キ者セーアイユイン下剂ヲ用テ而後左ノ

含嗽剂ヲ用ユベシ (処三)

薔薇蜜 茶煎汁一ポンド

右二味合加阿片太陽煎二十滴○若疼痛甚トキハ「ラウタニウム」

ヲ用ユベシ或ハ舌疽ヲ切去リテ後唯硝石单味ノ溶解剂ヲ用ル

アリ惣テ截断術ノ后之ヲ与テ以テ焮衝ヲ防クナリ

(三四) 老人咳嗽強ク動揺スレハ氣息短促痰ヲ吐キ両脛眼瞼等ニ

微腫アリ脉強数者然レ有焮腫候者禁之 (処三)

チキターリス十五ケレイン 甘中膏一钱

右二味水百二十八钱煮三四沸後火ヲ下シ硝石一钱「ヒヨシヤモス」

八ケレインヲ加ヘ毎時一匕ヲ服ス

(三五) 腹水施穿孔術後衰弱甚者 (処三)

桂 水楊梅 良姜 杜松子 泥菖根 薄荷 龍胆

右水煎

(二六) 又腹水施穿腹後主方 (処三)

満納一オンス 牛胆五分 龍胆五分 ホフマンシ十滴 水九十二度

右水煎

(二七) 脱肛等大ニ突出痛甚者 (処三)

カロメル六ケレイン 硫黄五分 酒石一匁 沙糖適宜

右四味合一日服尽〇時々施水銃法

(二八) 利水方 主治見丸散彙中 水腫 (処三)

蝸蝸石五分 酒石酸十ケレイン至十五ケレイン 龍腦三ケレイン チキ

ターリス一ケレイン

右分爲六服一日服尽

兼用利水飲劑方即チ其方

泥菖根三匁 龍胆五分 杜松子一オンス 大黃二匁

右四味水百五十匁煮テ百二十匁ヲ取り芒硝四匁硝石二匁ヲ加ヘ溶解

シ次ニ薄荷油三滴「オッセガル」五分加ヘ毎時二匁或ハ一匁半ヲ

用ユ

(二九) 小瘡内攻小水不利 (処二)

酒石酸三分 龍胆九ケレイン

右分爲九服日三服

兼用前飲劑方利水飲

(三〇) 關節屈伸不妨之ヲ按セバ微痛否レハ不痛歩スレハ躓ヲナス

者 (処三)

吐酒石五分 牛胆二匁 豕油八匁

右混和患処ニ摩擦スルコト一日ニ三次或ハ四次海水浴ヲ毎日二三

次浴セシム

(三一) 感冒后咳嗽不止肺膿トナラント欲スルモノ (処三)

硝石二匁 沙糖一オンス 吐酒石一ケレイン 甘中二匁

右合爲六服二日ニ用尽

(三二) 疥癬内攻咳嗽劇者 (処三)

硫黄二匁 硝石四匁 甘草四匁 沙糖一オンス

右合爲十二服毎時半服

(三三) 淋疾痲痛甚者 (処三)

アルター根一オンス 甘中四匁 亞麻人四匁

右三味加大麥煎二ポンド 硝石二匁 蜜適宜服

(三四) 下疳包莖前皮腫不退経日不脱龜頭腐乱当少水時劇痛諸薬不

奏効者 (処三)

カロメル二十ケレイン 金硫黄十匁 沙糖四匁

右合爲十服一日三服此方五六日モ用テ嘔ヲ発ル寸ハ金硫黄四匁

ニ用ユ

(注) ゲレインの符号氏がここでだけ使われている

又外用蒸薬

カミルレ野菊花二三握 亞麻人二分

右水一升ニ煮テ八合ヲ取り阿片二十ケレインヲ加テ頻々患処ニ

施ス然レ腐蝕ノ処ハ其宜ニ從フヘシ

(三五) 暑日停食脉緩舌上微苔且微渴腹辺邊臍而痛微下利 (処三)

(注) 戸塚氏の処方録では、これはシーボルトが罹患したこと

になつてゐる

マク子シア一匁 吐根十ケレイン 大黃十ケレイン 沙糖二匁

右合爲八服二日服尽



(三) 鯉瘍<sup>カシヤク</sup>截断ノ前翻花スル時ノ方 (処三)

吉納 大黄 硝石 甘草 薄荷<sup>シヤク</sup> カノコソウ 右水煎

右外用

ムートルコイド苦蕒

右单味水煎患処ヲ洗フ

右截断後焮痛

大黄 龍胆 硝石

右三味内服

右衰弱

カノコソウ 龍腦 ヒヨシヤモス 薄荷<sup>ペイワルメンタ</sup>

(三) 瘰癧<sup>レイゲイ</sup>自酸液及粘液来者 (処三)

吐根五ケレイン カロメール十ケレイン 阿片ニケレイン 蝟蛄石二十ケレイン 沙糖

右為十二服一日三服

又方

カロメールニケレイン 吐根十ケレイン 阿片三ケレイン 蝟蛄石三

戔 龍胆六ケレイン 沙糖 右合

(三) 霍乱吐瀉甚者 (処三)

マクネンシア三戔 大黄三分五リ 沙糖一戔 ラウタニユム 薄荷<sup>ペイワルメンタ</sup>各六滴

(元) 治内障眼丸子方 (処四)

阿魏一戔 吐酒石一戔 甘草膏四戔

右為丸日服三分三厘

(四) 淋家脚膝酸疼眩暈者 (処四)

大黄五分 カノコソウ二戔 吐根一スクリユベル

右水九十六戔煎加甘硝石精五分朝夕服一匕

(四) 男子年二十九神氣鬱冒上逆易憤努者 (処四)

シキタリリス一戔 硝石二戔 沙糖

右分為十二服朝夕一服

(四) 婦人臍骨辺癆腐肉疽汚液浸淫者 (処四)

海塩酸液 甘硝石精各一戔 灰水三十戔 吉納<sup>キナチンク</sup>丁苦<sup>テニール</sup>的由耳六十滴

右毎日六十滴ヲ服ス

(四) 處女耳下粘液腫状按之全形柔軟大如拳者 (処四)

エブリコ デキタリリス 金硫黄 右

(四) 老婦当肝脾部頑硬 シイホルト云子宮頑腫 (処四)

アッサフーチタ阿魏二戔 カノコソウ ヒヨシヤモス五分 甘中膏四戔

右為二百六十九丸毎日服十五丸

(四) 微毒上攻腫子散大浜屋号左衛門主方 (処四)

鳥頭<sup>アヲラト</sup>二十ケレイン 龍腦<sup>カンゾウ</sup>同 吐根十五ケレイン カノコソウ一戔 沙糖一オンス

右細末分為甘服一日二服〇時々頭上灌水

(四) 帶下方兵庫金屋伊右エ門妻主方 (処四)

カロメール二十ケレイン エイスル剛鉄二十ケレイン 大黄三十ケレイン

阿魏一戔 甘中膏四戔

右為百丸一日十九宛

又外用方

又外用方

蜀葵煎汁適宜 礪砂一匁ヲ加ヘ陰門ニ注射ス

(四七) 角膜ノ白膜ヲ去ル方 (処四九)

蘆薈六ケレイン 猛汞一ケレイン ラウタニユム十滴若ナキ寸ハ阿片二厘

右蜀葵煎汁十六匁中ニ和シ翳上ニ点スル一七日ニ二三

又方

亜鉛華少許

右ヘット獸脂ニ和シ点スルモ可也○又水ニ溶化シ用ユ

(四八) 白点眼諸証 (処五〇)

外用 水蛭及脚湯

猛汞一ケレイン 盧会ニケレイン 阿片半ケレイン

右水十六匁ニ溶化シ眼中ニ点

○内服 カロメル 龍腦

(四九) 和胸方 (処六一)

葵根一オンス セーケワス 諸海中ラ云尤モ 瓊脂菜ヲ良ト云 トコロチンモ 一オンス 甘中二匁

右三味若シ発汗ヲ要セハ

吐酒石一厘六毛 硝石一匁

(五〇) 一方強壯収斂 (処六二)

吉納一オンス 龍胆少 硫黄精十五滴

右水煎

(五一) エリキシルプロプリタチスバラセルシノ方 (処六四)

(注) Paracelsus の処方)

雜腹蘭五分 没薬一匁 盧会二匁 火酒一合

右為太陽煎○服量一日自十五滴至二十五滴

(五二) カロメルマク子シヤ劑 徽毒或痛毒節痛者 (処六五)

カロメル二十ニケレイン マグ子シヤ八匁 沙糖一オンス

右分為二十四服毎半時日六服二日用テ二日ヲ間シ コノ二日ヲ間スルハ其眼眩ヲ試ムル 又二日ニ用ユ麦酒送下

(五三) 一方液質瘰癧者或徽家帶瘰癧者 (処六六)

カロメル十二ケレイン 阿片一ケレイン 大黃五分 沙糖六匁

右分為十二服

(五四) 一方神經熱

龍胆五分 硝石五分ヨリ一匁 沙糖一オンス

(五五) 一方衝心喘息 (処六七)

蝟蛄一匁 硝石五分 銀朱シナイフルニ匁

右水十二匁若脚氣衝心以蘿蔔汁服之

(五六) 頑癬白禿瘡方或臙瘡 ウラットワートル方 (処六八)

枯砒 セルーサ鉛粉 猛汞各五分 酢 火酒一匁

右混和塗用

(五七) 一方含嗽劑トシ洗淨劑トス 咽喉腐蝕 (処六九)

猛汞一リ半 アラヒヤゴム一匁 水一ポンド

右磁罐中ニ入レヨク研和白蜜一オンスヲ加フ

(五八) 発汗方 痘瘡内陷者 (処七〇)

カノコソウ一匁 礪砂十二ケレイン 吐酒石半ケレイン

右先煮瀝中次ニ三味ヲ下ス

(五九) 剛鉄丸 (処七一)

大黃 剛鉄 蕎麥粉各十六ケレイン 没薬一匁

右糊丸

(六〇) 殺虫丸 (処七二)

海人中オオルムサードノ代用 大黃各二匁 龍胆五分 甘中五分

右末糊丸

(六二) 一方 (処五)

硝石二匁 砂糖一オンス

(六三) 硫黄カロメルル剂方 頭瘡 (処七)

硫黄一匁 カロメルル十二ケレイン 砂糖一オンス

右分爲十二服

(六四) 硫黄剂方 小瘡或疥癬 (処七)

硫黄二匁 硝石一匁 砂糖一オンス

右分爲十二服

(六五) 一方消耗熱及肺瘍 (処七)

甘中一匁 蜀葵四匁 エイスラントモス代用艾納<sup>マツコケ</sup>四匁 水百六十四匁

右三味煮去滓次加左藥上微火

アラヒアコム一スクールヘル ヒヨシヤモス十ケレイン 硝石二匁

右混和

又朝服飲料

雞子黄一箇 砂糖適宜

右温湯中攪勻

又脚湯其方

塩 芥子 適宜

(六六) 治疥癬 (処八)

硫黄十六匁 アンチモニウム 硝石各八匁 砂糖四匁代薑苳仁

右末トナシ或ハ丸トナシ服ス

(六七) ジキタリス散 (処八)

ジキタリス十二ケレイン 砂糖

右合爲十二服日三服或加硝石二匁

○凡ジキタリス服量一日ニ四ケレインニ過ズ

(六八) 洗眼水 (処八)

亜鉛華半ケレイン 水一オンス ラウタニウム二滴

右三味混和

(六九) 猛汞水 (処八)

猛汞半ケレイン 蕃薇蜜一オンス アラヒアコム一匁 水九十六匁

右混和

兼用塗藥

蕃薇蜜一オンス 沒薬五分 硫黄酸一滴

右混和

(七〇) 烏頭散 痛風毒者 (処八)

烏頭十二ケレイン 龍胆一スクールヘルヨリ或五分 甘草二匁

右混和分爲十二服四・服尺

(七一) 強健酒 (処八)

吉納四匁 龍胆二匁 エリキシルヒットリヨール十五滴 醇酒二合

右色浸

(七二) 治黄疽方 (処八)

石鹼二匁 上好乳香二匁 大黃一匁 酒石酸五分 エリキシルプロ

プリイタチスバラセルシ適宜

右爲丸

(七三) 一方痘瘡常服拒酸液 (処九)

龍腦一スクールベル マク子シヤ一分 甘中一分 砂糖五分

右合為六服

(七三) チキターリス飲料 (処九六)

シキターリス十二ケレイン 硝石五分 水一合

右水煎

又方

チキターリス五分 ヒヨシアモス二分 水一合半

(七四) オントルソウト飲料 (処九六)

オンドルソウト芒硝ニスケルベル 水四十五匁

右一沸供用或加硝石五分

(七五) カロメールシキターリス散 (処九六)

カロメール八ケレイン チキターリスニケレイン 沙糖

右混和

(七六) 治咳散 (処九六)

金硫黄十四ケレイン カロメール十ケレイン 沙糖八匁

右合為八服日三四服

(七七) 治喘息 (処九六)

カロメール十五ケレイン 金硫黄十ケレイン チキターリス十ケレイン

沙糖四匁

右合為十五服日二服

(七八) 治腹水 (処九六)

蜷蛄右二匁 チキターリス八ケレイン 酒石酸液三分

右合為八服日三四服

(七九) 又欬剂方 (処九六)

龍胆 大黃 硝石 杜松子<sup>ユニヘル</sup> 杜松木<sup>ユニヘルホム</sup> 泥昌根<sup>カルクヌス</sup> 茅根<sup>カラス</sup>

右水煎加剛鉄太陽煎十滴牛胆五分如法用ユ

(八〇) 健胃下剂 (処一〇〇)

杜松子 龍胆 大黃 甘中

右四味

(八一) 強壯剂 (処一〇〇)

カノコサウ三匁 龍胆

右水十五オンセンヲ以テ煎薄苛油四滴ホフマン三十滴ヲ加フ

(八二) 一兒腫上腕脱白皮膚癩小瘡者 (処一〇〇)

カロメール十ケレイン 金硫黄ニケレイン 蜷蛄石二匁 沙糖ニオンセ

ン右

(八三) 治肩背痛 摂州御影加納治郎左エ門後室 (処一〇〇)

龍胆一分六リ 礪砂一匁 リクキリチャ三分三リ 沙糖八匁

右合為十服日二服

又兼進方 スエートドレイヘンデ七八滴

右一日兩三次

(八四) 治微毒瘡瘡 (処五三)

カロメール五ケレイン 大黃五分 沙糖二匁

右合分為三服一日服尽二三日ノ後左ノ方ヲ用ユ即

カノコソウ一匁 阿魏三分

右為丸一日ニ服ス

(八五) 久年腹痛且或癖囊ト俗ニ号スル者 (処一〇七)

大黃五分 薄苛油五滴 マク子シヤ五分 カノコサフ一匁

右合分為二服一日ニ服尽

(八六) 前証兼痰喘 (処一〇〇)

オンドルソート芒硝 大黃各五分

右末シ日ニ二三行ノ下利ヲ取ル此方ヲ服スルコト一日後方ヲ与フ

マク子シア五分 蝟蝟石三分 沙糖二匁

右合分爲三服一日服尽

(八七) 半身不遂 (処二〇九)

大黃一匁 吐根二ケレイン カノコソウ二分 龍胆五分

右研和糊爲丸日二十九

又外用方

カヤフーテ油

右頻々患処ニ施ス

○又海水浴温泉浴脚湯

(八八) 頭痛自微毒来者 (処二一〇)

ヘーニユスチンクチュル製剤名後條ニ出ス

右日二十滴ヨリ二十滴ニ至ル

又飲剂方

大黃一匁 土茯苓<sup>ツツハカトル</sup>四匁 龍腦少許

右二ポントノ水ニテ煎シ日ニ三茶碗

(八九) 胃中不化手足腫起者 (処二一一)

マングエリキシル 右

又外用方

カヤフーテ油

右胃上ニ塗リ且手足ニモ塗ル

(九〇) 子宮カラムプ即衝逆瘞瘰証 (処二一二)

カランプスチルレンデ製剤ノ名適宜十二滴位

右日ニ二次○脚湯

(九一) 微毒胸痛者 (処二一三)

カロメール散トナン用ニ随証配合内服

又煎方 土茯苓 亜麻人 右水煎服

又散方 硝石 蝟蝟石 右

(九二) 胸痛者或瘰腫ヨリ来ル者 (処二一四)

硝石二匁

右蜀葵煎汁ニ溶和シ用ユ或吐酒石ニケレインヲ加フ

(九三) 耳聾因微毒者 (処二一五)

カロメール散或丸トナン内服

又外用方 水蛭○脚湯

又方 野菊花<sup>カミユレ</sup> 錦葵

右水煎 水銃ヲ以テ耳中ヲ洗フ

又方 石鹼適宜

右温湯ニ溶化シ如前洗フヘン善ク垢ヲ去リ掃除ス

(九四) 癩癩 (処二一六)

第一 刺絡

硝石 ヒヨシヤーモス カストレユム等ヲ随証用ユヘン

(九五) 神経病不意ニ発笑者 (処二一七)

カノコソウ 海狸香 大黃 阿魏

右爲丸服

○寒水ヲ以テ頭上ヲ洗フ可ナリ○脚湯

(九六) 婦人白帶下黄肿ノ証ヲ兼ル者 (処二一八)

鉄粉ニケレイン 大黃同 阿魏一匁 カロメール十ケレイン

甘中膏四錢

右為百九一日服十丸

又外用方 蜀葵汁ヲ陰中ニ注射スヘシ

(七) 婦人白帶下變テ赤帶下トナリ陰門焮衝当尿時痛者 (処二九)

蜀葵煎汁適宜 硝石二錢 ズワフルシユール硫黃精六滴

右合毎時二匕且治旧淋ノ後陰門焮痛尿血者

(六) サフラン水 視力ヲ益シ焮熱ヲ除ク (処二九)

サフラン末少 薔薇花露水大 龍胆少

右三味混和供用

(九) 中風言語澁滯行步蹇難 (処二〇)

カノコソ二錢 薄荷葉一錢

右二味水半ポントニ煮テ番木鱉六ケレインヲ加ヘ二日ニ用尽

(一〇) 濕瘡半癒ノ内攻スルモノ (処三三)

蜚蝥石二錢 カロメール一スケルヘル 龍腦二 沙糖六錢

右研末分為二十服一日三服

(一〇) 陰莖勃起精液漏出スル者 (処三三)

カノコサウ 大黃

右二味水煎

又外用法 陰囊灌水 脚湯

其後発暈スル者

カランプスチルレンテ二三滴白湯送下

(一〇) 陰囊水療法 (処三三)

トロイカルヲ挿テ陰囊ヨリ水液ヲ漏出シ其跡ニ唧筒ヲ以テ漏レタル液ノ量ダケ赤葡萄酒水各半ヲ射入シ其口ニ乾撒糸ヲ充ツ

如此毎日前ノ如ク相施スベシ

又内服方 硝石一味溶化劑

若シ搗搗ヲ発ル寸ハ腹部ニ縛帶ヲ施スト云 シイホルト云ク陰

囊腫ニ三種ノ起原アリ一ハ水ヨリスル者ニハ頑硬ヨリ為ス者三

ハ腹膜破裂ヨリナス者也腹膜破裂ハ之ヲ収ル寸暫ク旧ニ復スト

虽從テ下垂ス食後其膨脹スルヲ覺フ是其徴也

(一〇) 眼中頑肉白点 (処三四)

赤汞丹十五ケレイン 亜鉛華六ケレイン

右家猪脂二錢ニ和シ軟膏トス一日三次甚些少宛貼用

又此膏ニ盧會六ケレイン牛胆一スケルヘルヲ加ルコアリ

(一〇) 内障眼初起及爛眩風ヲ兼ル者 (処三五)

カロメール 内服

又洗方 亜鉛華

右水ニ溶化

(一〇) 内障瞳孔散大ノ者 (処三六)

ヒヨシヤモス十五ケレイン シキタリス十ケレイン 甘中少

右三味為丸三日用尽

凡ソ亜鉛華及シキタリスヲ点スルルキハ瞳ヲ廣潤ナラシメ烏

頭煎ヲ点スルルキハ瞳子ヲ縮少セシムルナリ

膿滿眼ノ証上面綠色ヲ帶モノハ微毒ヨリ来ル兆也眼目ノ焮痛軟

和ニスルハ獸類ノ骨髓ヲ点スルコアリ

針術前ニ瞳子ヲ開カセ廣メン為ニヒルセンコロイト并ニシキフ

タ及阿片汁ヲ眼内ニ点ズ ヒルセンコロイド代用莨菪和蘭甚多シ種ヲ下セハ生育スト云

(注) 江戸の眼科医土生玄碩がシーボルトから危険を冒して聞き出そうとしたと言われる散瞳薬のことが、門人にはこのように教えられていた)

(106) 一男子眼下ヨリ翳膜ヲ生シ漸次ニ中央ニ及ヒ下部ノ方ヲ見ルヲ能ハズ上部ヲノミ見ルモノ (処二七)

内服清涼方

硝石二匁 芒硝四匁 大黃五分 水九十六匁

右調和毎半時服二匕

又外用方 明礬 沙糖

右極研末 小刀尖ニテ些少眼中ニ点ス 險ヲ閉ルヲ一霎時

(107) 微毒ヨリ来ル眼 (処二三)

カROMEIL十五ケレイン 大黃二五ケレイン 紫茉莉十五ケレイン

沙糖八匁

右合分為十服朝夕二服

(108) 疳眼勞眼 和蘭テリシクハンオーク (処二九)

猛汞丹 ラウタニウム 水

右点眼水トス

(109) 角膜翳曇 (処三〇)

錦葵ニケレイン ラーイスヘヒニユス神功石ニケレイン ラウタニウム六滴

ム六滴

右点眼水トス

一方

マルハワートルニケレイン ラウタニウム四滴

(110) 乾燥眼夜中痲淚 (処三一)

錦葵煎汁ニオンセン エキスタラクトヒヨシヤモス四ケレイン  
右点眼水トス

(111) 焮腫眼

刺絡○清涼劑○水蛭○脚湯

(112) 黒障丸 (処三二)

エキスタラクトヒヨシヤモス十五ケレイン プートルンシキターリ  
ス十ケレイン

右以甘中膏為丸

(113) 一方小兒二歳吐乳多酸液者恐クハ或帶遺毒者

カROMEIL一スケルヘル マク子シヤ五分 沙糖四匁

右合分為十服日二服

(114) 痘瘡治方大要 (処三三)

第一 區別

真痘 假痘 水痘 稀痘

第二 発時局

初発 起脹 灌膿 結痂

第三 痘性質

善痘 焮腫熱痘 神經熱痘 腐敗熱痘

各四時ニ從テ藥品ノ區別アリ四時ハ発時局ナリ

善痘ハ藥ヲ用ルニ及バズ

焮腫熱痘ハ清涼下劑即チ答末林度滿那カROMEILノ類ナリ而シテ

發汗劑ヲ兼用スベシ即チ吐酒石金硫黄礪砂等ナリ且ツ軟性ノ發

汗ハ錦葵葉蜀葵根茅根甘中等ナリ此ハ煎劑トナスヘシ

又焮腫熱痘變シテ神經熱痘及腐敗熱痘トナル神經熱痘ハ虚弱質ノ

人ニ生ス清涼方ヲ用ユ大ニ熱性ノ物ヲ禁ス即チ

カノコ巾 カリヨヒラター 大黃 ヒヨシヤム カロメール

スピリチユスニユットリユム 温湯等ヲ用ユ

神經痘熱セサル寸ハ呼膿法ヲ用ユヘシ

腐敗熱痘ニ変スル寸ハ

麝香龍腦鹿角精硫黃精海塩精等ヲ用ユ

吉那の里キナチリフカ亜加ハ却テ害ナリ清涼剂及下剂ヲ用ユヘシ発汗剂ハ格

別用ユヘカラス

清涼剂及カロメール始終服用之 從見証也マク子シヤノ类ハ始ヨリ終マテ用

ユベシ

(二三) 經久徽毒頑固難治者

初日 下剂ヲ用ユ其方

芒硝八匁 紫茉莉根二分六リ強

右二味水十二オンセンニ煮テ毎時一茶碗ヲ用ユ

二日 早朝温湯ニ浴シ夜モ又温湯ニ浴シ而シテ前方ノ下剂ヲ用ユ

但シ入湯後服スベシ入湯中ハ服スルコト勿レ

三日 ケレイスマルキュルサルフ (注 水銀軟膏)ニ棧ヲ取り足

ノ先ヨリ膝ニ至ルマデ摩擦スベシ

四日 前日ノ儘ニシテ何モ用ヒス置クヘシ

五日 早晨前ノ膏一棧ヲ取り膝ヨリ腰ニ至ルマテ摩擦スヘシ

六日 閑日

七日 閑日

八日 晨ニ前膏二棧ヲ以テ手ヨリ肩迄摩擦スベシ

九日 閑日

十日 晨ニ前方ノ如ク膏ヲ腰ヨリ脛ニ擦スベシ

十一日ヨリ十七日マデ毎日前法ノ如ク膏ヲ擦スヘシ且其間下剂

ヲ用ユ

十八日十九日 閑日

二十日 此ヨリ日ニ三次前法ノ如ク膏ヲ擦スベシ

廿一日 閑日 廿二日 擦日 廿三日 閑日 廿四日 擦日

廿五日 閑日 廿六日 擦日

蓋シ如此膏ヲ塗ノ間其膏ヲ用ヒサルノ閑日ニハ三日メニハ前ノ

下剂ヲ用ユベシ又用藥中ハ衣裳及居処ヲ移スコト勿レ

食禁 米麦飯及雞羹汁ニ炙塩ヲ加ヘ用ユ其他ノ物ヲ禁ス

若シ渴ヲ発ル寸ハ蜀葵甘中ノ水煎ヲ用ユ

廿七日 温湯ニ浴シ石鹼及火酒ヲ以テ洗ヒ而シテ新衣ニ換ヘ清涼

ノ居室ニ移スヘシ

メルキュールサルフ二十四匁 芒硝四十八匁 ヤラツハ二匁 蜀葵

百九十二匁 甘中百九十二匁 石鹼十六匁 火酒半フラスコ 雞十二羽

右廿七日間用スル所諸藥分量ノ通計

(二六) 聖京健毒肺ニツキ咳嗽甚ク胸膈痛ヲナシ脉軟浮ニシテ或沈

ニシテ数仰臥スルコト能ハス横臥スルコト能ハス咳ン眠ルコト能ハス飲

食不進小便不利身体虚羸或ハ膿ヲ吐シ或ハ沫ヲ吐ス即瘍ナリ

(処一四)

(注) 聖京健シンキョウケンとはオランダ語の Zinkingen で炎症、ここでは感

冒であらう)

吐酒石一ケレイン コムアンモニヤク三十ケレイン 硝石一匁

龍胆二十ケレイン



右合末以甘中膏為丸四日ニ服ス

(一七) 聖京健肺ニツキ咳嗽甚ク勞ニ變セント欲スル者 (処一七)

硝石二錢 甘中一錢 吐酒石一ケレイン 沙糖八錢  
右合分為六服日三服

(一八) 同咳嗽甚者或小瘡難治者 (処一七)

硫黃二錢 硝石一錢 甘中四錢 沙糖八錢

右合五分為一服每半時服半服或分為十二服每一時半服

(一九) 聖京健熱ノ証ニテ脉浮ニシテ飲食不進小水赤黃舌上黃白苔微

渴スルモノ (処一八)

シキターリス十二ケレイン ヒヨシヤームス一ケレイン 硝石一錢半  
エキスタラクトケンチアナ五分

右分為十二服毎日二服兼用葵根菊花煎汁

(二〇) 同脉急数胸膈刺痛橫臥シ難ク呼吸促迫大渴煩躁四肢播擲食

氣減少小水赤黃大便如常 高良齋ヲ療スル法 (処一)

(注) 同とは前項と同じく聖京健熱から始まって肺炎になった  
ものと思われる。戸塚氏処方録ではこの項に肺焮腫という題を  
つけている)

第一 放血九十錢 其後即藥方ハ

硝石二錢 甘中膏五分 ヒヨシヤームス十二ケレイン

右水九十六錢ニ溶化シ温ニ乗ンサーリップ代ヲサギソウ  
娥眉中根ニヒヲ加ヘヨク

和シ每半時二匕ヲ用ユ毎夜一次灌腸法ヲ施ス其方

醋半碗 苦薏煎汁 石鹼一錢或半錢

右溶化シ用ユ

如此スルヲ八日諸証猶減セス但漸ク仰臥ヲ得ルニ至ルノミ又八

日ニ放血三十錢ヲ漏シ煎劑前方ヲ用フ

然ルニ九日ヨリ胸痛十二七八ヲ減少ス脉大緩ニシテ弱ナリ四肢播

擲肉調大渴煩躁大ニ減少ス故ニ灌腸法ヲ止メ尚前方ノ飲劑ヲ用  
ユ十二日ニ至リ諸症半ヲ減シ少ク橫臥ヲ得ルニ至ル然レ氏飲食不

進ヲ先ノ如シ背ニ発泡ヲ施ス大サ大碗ノ如シ後方用ユ

カROMEIL 二十ケレイン 金硫黃二ケレイン 龍腦十ケレイン ジキタ  
ーリス

右合分為十服日三服

此方十三日ヨリ廿九日迄連進ス然ルニ自汗頻ニ出テ諸症ハ日減  
ン漸ク快ヲ得ルト虽レ氏食氣復シ難シ由テ後方ヲ用ユ

エイストラントモス四錢

右水九十六錢ニ煮テサーレップ一錢ヒヨシヤーム一スクリユヘルオキシ  
メルエルキシリヲ加ヘ每半時服一匕○後加エキスタラクトケン  
チアナ

(二一) 脂肪過多ヨリ発ル腹滿甚クン食スレハ胸下ニ迫リ苦悶甚者

殊ニ婦人ニ多シ (処二一)

礪砂一錢 芒硝四錢 大黃一錢

右先ツ水九十六錢ヲ以テ大黃ヲ煎シ次ニ礪砂芒硝ヲ加用ス

(二三) 小瘡内攻日久ク治テ後骨節疼痛其状痛風ノ如ク或霍膝風ノ

如キ者ヲ治ス (処二三)

カROMEIL 二十ケレイン 吐酒石五ケレイン 烏頭五分

右三味以甘中膏二錢丸シ為六十粒毎日十粒ヲ用ユ

(二四) 腹水腫 (処二四)

泥菴根三錢 龍胆五分 大黃二錢 杜松子八錢

泥菴根三錢 龍胆五分 大黃二錢 杜松子八錢

泥菴根三錢 龍胆五分 大黃二錢 杜松子八錢

右水煎加芒硝四錢硝石二錢溶解シ次ニ薄荷油三滴牛胆五分ヲ加フ

(二二五) 水腫無癩衝候者(処二三)

蜘蛛石 酒石酸十二ケレインニ至ル シキターリス一ケレイン

龍胆ニケレイン

右合為六服毎日二服

水腫外用方

牛胆 右雞子黃ヲ以テ解キ腹ニ塗ル(一本并ニ篤釋香ニ和シ塗

腎部)

又方

乳香 右火ニ投シ其烟ヲ羅沙ニ薫シ手足及全軀ヲ擦スベシ

利尿方

亞麻人 セ子一フルホーム杜松子 茅根 甘中

又方

杜松木葉及子 茅根

(二二六) 小瘡内攻急迫治テ後微腫難退者(処三九)

蜘蛛石一錢 酒石酸三分 龍胆九ケレイン

右合分為九服毎日三服

(二二七) 子宮硬結腫アリ黃赤紫黒ノ粘液ヲ毎日微々ト前陰ヨリ漏

出スル者(処一八)

阿魏二錢 カノコソウ一錢 ヒヨシヤムス五分

右以甘中膏二錢調和為二百丸毎日服十五丸

(二二八) 痔痛(処二四〇)

硫黃花一錢 芒硝五分 沙糖四錢 甘中少

右合分為十服毎日二服

(二二九) 痛風イーグト(処二四一)

カROMEール二十ケレイン 烏頭十五ケレイン 龍胆十ケレイン

砂糖八錢

右合分為十服毎日二服

(二三〇) 褥瘡

キナ 竭納ニオンセン

右單味水八十錢ヲ以テ濃煎シ滓ヲ去リ鉛糖ヲ適宜ノ水ニ溶化シ

之ヲ煎汁中ニ四十滴加フ又竭納ノ粉末器底ニ沈着ス其上清水ヲ

去リ其粉末ヲ取り乾シ散トナシ適宜ノ豕脂ニ混和シ用ユ

(二三一) 微毒耳聾脈浮數衝逆ノ証アルモノ

硝石二錢 或甘硝石精 礮砂一錢 吐酒石ニケレイン

右三味水九十六錢中ニ溶化シ每半時一匕ヲ用ユ之ヲ服シテ十ノ一

ニヲ治ス其後発泡膏ヲ大ニシ肩施シ後方ヲ用ス

硝石五分 シキターリス 右

(二三二) 微家身體衰弱動モスレハ発暈脚膝疼痛膿淋滑精者(重出四)

処四一)

大黃五分 カノコソウ二錢 吐根一スクリユヘル

右三味水九十六錢ニ煮冷定ノ後硝石五分ヲ加ヘ每服二匕朝夕

又外用方

カヤフーテ油一スクリユヘル 礮砂精三錢 胆八油

右調勻患部ニ塗擦ス

(二三三) 一僧六年以來吃逆ヲ患ヒ一日発スルヲ七八度辛辣液ヲ吐シ

且ツ脇腹痙急ヲ発スル時ハ吃逆自ラ癒ル者(処二四二)

大黃一錢 薄荷二錢 龍胆五分 カノコソウ一錢

右水九十六匁ニ煮湯成テラウタニユモ十滴ヲ加ヘ毎半時服ニ匕

(二三) 小兒生後六十日滿膚發小瘡(処二四)

蜘蛛石五分 金硫黄ニケレイン 大黃二匁 沙糖

右合分為十二服毎日二服

(二五) 食傷嘔吐ノ後大便急甚者(処二四)

蜀葵根八匁 大黃

右水九十六匁ニ煮テ雞子黄一箇胆八油四匁ヲ加フ毎時ニ匕

又散藥ノ方

カローメル五ケレイン 阿片一ケレイン 沙糖

右分為六服日二服

(二六) 淋疾後ノ腹痛ノ方(処二四)

カローメル十五ケレイン ヤラツバ十ケレイン 大黃一匁 沙糖 右

(二七) 慢狂風ワテルホーフド

(注) オランダ語 waterhoofd 水頭症

カローメル一ケレイン マク子シヤ五分 沙糖八匁

右分為十服一日一服

(二八) 焮衝熱様ノ証

蜀葵十二匁 甘中八匁 芒硝八匁 薄荷油一滴

右毎時ニ匕

又散藥方 龍腦ハ発汗清涼

龍腦三分ニ 硝石一匁五分 甘中一匁 沙糖八匁

右合分為十服毎三時ニ用ユ

(二九) 頭瘡(重出六、処七)

カローメル十五ケレイン 硫黄一匁 沙糖八匁

右合分為十二服

(三〇) 微毒ノ神經ニ着ク者

ヒヨシヤムスニケルベル 阿魏一匁 龍腦同 大黃

右為丸十日服尽

(三一) 神經動悸心胸煩悶或譫妄間歇者胆汁敗黒

シキターリス三分三厘 カローメル十五ケレイン 大黃二分

右合分為十五服一日二服

(三二) 舌疽

竭納ニオンセン

右水煎スワーフルシニール二十滴ヲ加フ

又舌上ニ塗ル 胡蘿蔔汁性惡液ヲ淨掃スル也 及沒藥<sup>チキチキ</sup>丁吉<sup>チキチキ</sup>の由兒 右

(三三) 乳癌

竭納 大黃 甘中 葵根<sup>官園薬活代用</sup> アンゲルヤオルトル 右

(三四) 小兒火傷顔ヨリ頸ニ至リ脉至テ細數險露出宛モ脱肛状ノ如

ク外施胆八油ヲ塗リ藜吾葉ヲ以テ覆ヒ其上ニ木綿ニ冷水ヲ浸シ

覆ヒオク

内服方

カローメル半スクリユヘル マク子シヤ五分 ジキターリス十ケレイン

ヒヨシヤームス五ケレイン 沙糖二匁

右調勻分為五服

(三五) 老人咽喉辺軟骨弛緩聲啞者(処二六)

吐酒石四ケレイン 龍腦十五ケレイン 蜂蜜十八匁

右毎日二次服半茶匕

又外用漱方

竭納八匁 明岩一匁 水一ポント

右調勻水煎

(一四) 儼家咽喉辺核ヲ生シ蟹腫ヲナス大小共ニ三個ナリ之ヲ截去スル其施術ノ間ノ出血ハ水ヲ以テ含漱セシメ而シテ後方ノ含漱劑ヲ与フ即

酢水 蜜 右三味調合

内服方

硝石一味ヲ溶解シ聽用ス

(一四) 婦人分娩後惡露不下者(処一四)

蔓納八匁 シュルバスソーダ四匁

右水十五オンセンニ溶解シ每半時一匕

其小兒ハマシナラ溶化シ与フ

(一四) 腐骨疽瘡口ヨリ濃汁出ル者(処一四)

カロメル 内服

又外用方

竭納煎汁 黄金水石灰水ニ塗布ヲ加フルモノ

右唧筒ヲ以テ瘡孔ニ注入シ外面水銀軟膏ヲ擦スヘシ

(一四) 手指腫起疼痛(処一四)

ロードソイクル鉛糖ヲ附クヘシ

又温湯ニ時々浸モ可也

(一四) 落黒痣

バイテンテロウグソウト

(一五) 痔疾経久脆弱努氣少キ者(処一五)

ウイルテボトム楊皮

右水適宜煮テ手巾ニ浸シ貼ス且寒水モ可

(一五) 熾盛熱口中腐敗粘液多キ者

温湯 酸酢ヲ加ヘ含漱スヘシ

(一五) 熾盛熱 狂乱者

脚湯法 温湯ニ食塩白芥子末適宜ヲ加フ

(一五) 清涼発汗

カローメル十二ゲレイン 吐酒石ニケレイン 大黄六分 砂糖適宜

右合為十二服毎日三服

(一五) 健胃下劑

橘皮 薄荷 龍胆 大黄 芒硝

(一五) 軟和

茅根 大黄 酒石塩

(一五) 強壮利尿

カノコサウ一匁 水楊梅四匁

右水十二オンセンニ煎シ硝石一匁ヲ加フ毎時一匕

(一五) 咳嗽嗽衝証

蜀葵 甘中 錦葵葉 無花果 硝石

右水煎

(一五) 痘瘡内陷ヲ発揮スル方(重出頁、処一五)

サルアンモニアシ 纈中

右先

(一五) 一方強壯

竭納 龍胆 桂 甘中 右

(一六) 一方子宮強壯

茅根 桂 丁字 甘中 右

(二六) 徽毒

菝葜 茅根 亞麻人 葵根 甘中

(二七)

カノコソウ 龍胆 大黃 橘皮

(二八) 一方清涼

玫瑰 大麦 橘汁 硝石 右

(二九) 一方子宮病

茅根 丁字 桂 カモメル代用嵩草 右

(三〇) 一方コウラルト (処七三)

(注) フランス医 Goulard の処方

金蜜陀 二十 酢四合

右煎取半

(三一) 阿魏 (処七六)

阿魏 大黃 甘中 各等分

右三味 一日服一ケレイン

(三二) 一方水腫 (処八三)

牛胆五 龍胆一 水百五十 煮

右煎服每半時服一匕

又外用方トナスキハ

牛胆 テレメンテイナ油 雞子黃

右三味水腫病等ノ腎部ニスル寸ハ甚ヨク利尿ス

(三三) 安息香附藥方 (処九二)

安息香 火酒浸四 猛汞三ケレイン 薔薇水四十 煮

右混和

(三六) 神經痛 (処九三)

カノコソウ一 ヒヨシヤムス半 スクルエブ 薄荷油一滴 水適宜

右混和

(三七) 清涼大黃散

硝石一 大黃一 砂糖八

右分爲十二服日二服

(三七) 内障初起黒風障 (処三五)

烏頭二ケレイン 龍腦同 吐根十五ケレイン カノコソウ一 砂糖四

右分爲二十服日二服但シ此ヲ用ル間一日ニ二回吐劑ヲ用ユヘシ

并頭上ニ冷水ヲ注クヘシ

(三七) 留飲時ニ胸腹急痛 (処二五)

蜷蛄石一 大黃一 續中二 砂糖八 或薄荷ラウタニユ

ムヲ加フ

(三七) 子宮衰弱ノ日々經血ヲ漏スモノ (処二五)

竭納八 大黃一

右水九十六 煎シ硫黃精十滴ヲ加ヘ毎時一匕ヲ服

又外用方 寒海水ヲ陰中ニ注クベシ

(三七) 小兒小瘡ヲ発シ酸痒スルモノ (処三五)

蜷蛄石二ケレイン 硫黃三十ケレイン サツサフラス四 龍腦十ケ

レイン 砂糖八

右分爲二十服日二服

外用 海水浴

(一五) 帶下 (処二五)

カノコソウ二匁 剛鉄精六滴 礮砂

右混和

(一六) カンククル痛瘡腫洗薬収斂

竭納 石榴皮

(一七) 一方食停

山査 大黃 橘皮 甘中

(一八) 制酸方 (処五)

大黃一匁 マク子シア一匁 砂糖一オンス

右合分為十二服日二服

(一九) 軟和下劑 肝脾腎腸諸疾腸瘍甚奇 (処二五〇)

野菊花八匁

右水百二十八匁ニ煎シ蔓納八匁胆八油八匁ヲ加フ

(二〇) 痘後疥癬 (処四)

カローメル二十ケレイン 硫黄三十ケレイン サツサフラス四匁

龍腦十ケレイン 砂糖八匁

右合分為二十服日二服

外用 海水ヲ温メ日ニ目ヲ洗フベシ

(二一) 一方胸水 (処二五)

シキターリス一分五リ 硝石二匁 薄荷油五滴 砂糖四匁

右末為十服日二服

(二二) カロメール散

カロメール二十ケレイン 砂糖八匁

右分為五服日二服

右水九十六匁ニ和シ毎時一匕

(二三) ラウダニユムリキユイシニム製法 (処一五七)

サフラン四匁 桂末 水楊梅根各四匁

右燒酒六十四匁ニ浸ス一三日而シ去滓阿片八匁ヲ加フ

(二四) 胸水 清涼開達劑 (重出二八、処二五)

シキターリス十ケレイン 硝石二匁 薄荷油三滴 砂糖四匁

右分為十服日二服

(二五) 清涼鎮痛 (処一五)

硝石一匁 ラウダニユム十五滴 茶湯六十四匁

右溶化朝夕二匕

(二六) 制酸発汗 (処一八)

金硫黄二ケレイン マク子シア一匁 吐酒石二ケレイン

右分為十二服日二服

(二七) 疥癬内攻脚膝難屈伸者 (処一六〇)

吐酒石四ケレイン カローメル十ケレイン 烏頭五分 甘中膏

右為六十九日ニ六丸ヲ服

(二八) ヘーニユスチンキチユル方 膝頭腫起或骨痛及微症梅毒最上藥ナリ

(処一六)

猛赤四ケレイン

右水十六匁ニ解キ龍腦二十ケレインヲ火酒ニオンセンニ溶化シラウダ

ニユム二十滴ヲ加ヘ右三味混合日ニ二十滴飲用ス毎半日芒硝大

黄ノ下劑ヲ用ユヘシ

(二九) 利水カンタリ乳 コンスブリユック法

芫菁五分 巴旦杏八匁 砂糖四匁

右分爲二十服一日ニ服量不詳

(一六〇) 半身不遂便秘スル証

カノコサウ末二匁 吐根三十ケレン 沙糖八匁

右分爲十服日二服

時々 大黃 芒硝各四匁

右水百二十匁ニ煎服ス

外用 カヤフーテヲ患処ニ施

(一六一) 腹水施穿腹術後(重出三六、処三)

蔓納一オンス 牛胆五分 龍胆同 ホフマン十滴 水九十二匁

右煎服

(一六二) 治産前後腹痛

蒲公英 甘草

右二味水煎服

(一六三) 肺病炊腫ヨリスルモノヲ治スル方

熟李 白砂糖

右二味水煮爛シ食ハシム

(一六四) 卒中 攣引烈シキ者

硝石二匁 甘硝石精五分

右水適宜硝石ヲ溶解シ磁器取り甘硝石精ヲ加フ

(一六五) 又前症持久シ愈ズ依テ此方ヲ与フ

芒硝八匁 ヒヨシヤームス三十ケレン シキターリス一匁

右水九十六匁ヲ以テ毎時一ヒヲ服ス

(一六六) 胃中粘液ヨリ惣身ニ斑疹ヲ発シ瘙痒発熱セシ証(処一七)

硝砂四匁 大黃一匁 龍胆五分 水一ホンド

右合毎時一ヒヲ服ス

兼テ浴湯ヲ施ス

(一六七) 経久外邪咳嗽及ヒ脇痛ヲ兼ル症

硝石一匁 蜀葵八匁 甘草四匁

### 附諸説記聞

蝟蝟石鑿法 ユヘイ説

(注) 蝟蝟石はオクリカンキリとも呼ばれ、ザリガニの腹中に生ずる結石である)

投硝石精中則溶解如粘膠状沈着者爲真品偽製者悉皆溶解而已

ゴム・ハルスノ辨

(注) ゴムはオランダ語 *gum* ハルスは *harz* で樹脂)

ゴムハルス一齊ニ火酒中ニ投シ溶解シタル時水ヲ加フ時ハ即ハ

ルスナル者ハ悉ク凝固スル者ナリ

サホン(注) 石鹼)之説

ウイッテセーブ スパアーンセセーブ メデセイenseーブ

右三種アリウイッテメデセイense之ニ品薬用ニ供スヘシ

ペインスチルレンデホクトブハンホフマン(注) ホフマン鎮痛液)

或ホフマンストロップ主治搖擲ヲ緩メ痛ヲ止メ利尿ス

○或ラウタニユム「カストレウムチンキチユル」ヲ混和シ用ル

「アリ惣」煖衝ノ証ニテハ決メ禁スベシ

スウフルシユウル(注) 硫酸)ノ辨

フルコーメン 白色透明

ランフルコーメン 淡黒色

右二種ノ中フルコーメンナル者ハ純粹ノシユウル而已ニシテ力ヲ緩ニ腐蝕ノ功ナン内服ニ供用スベシ此シユウルフハットパールスーフ」ヲ合スル時ハ互ニ力ヲ争テ腐蝕ノ功ヲ逞ス似黄胖而非者証疑クハ内蔵水腫平

治方 カロメール又チキタリス又マルチスチンキチユル 擦油テレメン 牛胆 雞子

婉後舌糜爛

多クハ之レ惡露下ラス子宮焮衝ノ致ス所カ発泡膏ヲ後頸ニ貼スベシ

又海塩精ヲ他液ニ和シ舌塗

○婉後不寐

始自子宮焮腫来ル故ニ婉後速ニ可施治法

カロメール 用量口授

微毒痛至夜劇キ者

ユンフルード引力ノ所為猶潮ニ盈虚アルカ如シト云爾

産後崩漏多クハ暴ニ胞衣ヲ引出ニ由ル

治法宜ク婦人ヲシテ枕ヲ低シテ両手ヲ逆ニ摩リ緊ク手ヲ以テ陰門ヲ閉塞シ寒水ヲ以テ陰門及子宮ノ部ニ濺ベシ

内服

柑汁或ハ硫黄精

右一味温湯ニ点服ス

(神奈川県総合リハビリテーション事業団・七沢リハビリテーション病院)